

農業体験で学校給食と生産現場を繋ぐ!!

平成28年度「和食」と地域食文化継承推進事業(食育事例)
事業実施主体:「食都神戸」食育推進協議会(兵庫県神戸市)

- 神戸市の食文化の継承や健全な食生活の促進を図り、神戸市の食を軸とした都市戦略「食都神戸」構想の実現のため、行政、農漁業者団体等が連携のもと、「食都神戸」食育推進協議会」を結成し、神戸の郷土料理や伝統野菜等、地域の食の魅力再発見や日本型食生活の普及などの事業を実施。
- 農業体験における取組として、児童を対象とした学校給食用野菜の収穫体験などを実施。



【取組の内容】

- 地元の小学校や特別支援学校を対象に、学校給食用に提供されている「たまねぎ」、「にんじん」、「じゃがいも」の圃場での収穫体験や、生産者との交流を実施。
- 上記農業体験には、7小学校(小学3年生対象)、1盲学校(小学部対象)の454名の児童が参加した。
- 他の取組として、学校給食の調理師等を対象に、学校給食用野菜を提供している生産者との意見交換会、産地見学会を実施し、調理師等40名が参加した。



【取組の成果】

都市部在住者に農業体験を実施することにより、食料生産の現場を知ってもらうとともに、参加者との交流による生産者のモチベーションアップが期待される。

児童による農業体験の感想（一部抜粋）

- ・ 初めてたまねぎを収穫して、たまねぎは一年に2回くらいしか採れないと聞きびっくりしました。
- ・ たまねぎの収穫作業があんなに大変なことを初めて知りました。雨のときの後にあんなに歩きにくいことを初めて経験しました。

調理師等による産地交流会の感想（一部抜粋）

- ・ 神戸の野菜なので、子どもたちに収穫の様子などを伝えることができると、勉強にもなるので、もっと使用していくようになると思います。